

アカゲラ通信

2017年8月号
(公財)札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所



「レストハウス」営業中

「レストハウス」は営業時間 10 時～17 時で毎日オープンしています。

コーヒー、ソフトクリーム、肉まん、ポテトフライなどのスナック類やピラフなどの軽食をご用意して皆様のご利用をお待ちしております。

旭山に昆虫は何種類いるの？

いきなり答えます…分かりません！

先日、総合学習で訪れた小学生のお子さんに「旭山に昆虫は何種類いるの？」と質問を受け、「分からぬい、1000 種類くらいはあるかもしれない」と答えました。

旭山の昆虫はまだ誰も詳しくは調べていないし、「1000」という数字には根拠があるようではない。

そこで「森の家」ではこの夏から、旭山の昆虫を少しづつ調べてリストを作ってゆくことにしました。

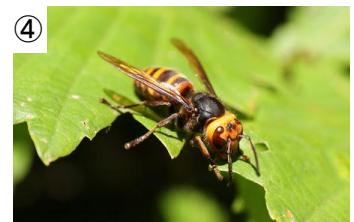
手始めに図鑑「札幌の昆虫」などを見ながら記録が確実な種をリストアップしてみると…155 種。

チョウ 54 種、トンボ 13 種、セミ 6 種、クワガタ 4 種など調べられているものもありますが、一部を除いたコウチュウ目、ハエ目、ハチ目、チョウ目の蛾の仲間などはほとんど調べられていません。

今月号はそんな昆虫たちの話題です。

●まずは 8 月によく見られるおなじみの昆虫たちの名前を知ろう

下写真左から①コウチュウ目「キマワリ」、②ハエ目「シオヤアブ」、③チョウ目「キバネセセリ」



●種の違いを把握していなかった(模様が似る、小さすぎて見にくい等)

マルハナバチやスズメバチなど同じ仲間をひとまとめで呼ぶ場合、具に調べると何種類もいる場合があり、例えばスズメバチは旭山で 6 種類確認されています。写真上右④は「コガタスズメバチ」です。

また、小さい種類が多いので、肉眼では違いが分かりにくいことも種の同定までには至らない理由です。

●カミキリムシは種類が多い

調べてゆくと、カミキリムシの種類の多さに驚かされます。

写真下左から⑤「ノコギリカミキリ」、⑥「ヨツスジハナカミキリ」、⑦「アカハナカミキリ」、⑧「アオカミキリ」



1000 種まで届かないかもしれないですが、どれだけの種類が分かるかこれから楽しみです。

まずは短い北海道の夏と秋、今年どれだけ増やせるか、ですね。

「旭山野鳥観察会」「自然観察会」の予定

●「旭山野鳥観察会」は直近が 8 月 12 日(土)、その次が 9 月 9 日(土)開催となっています。

朝 8 時「森の家」集合 参加費 100 円(保険代として) 小雨決行です。

●「自然観察会」は 8 月 26 日(土)、朝 9 時半「森の家」集合、参加費 100 円(同)、小雨決行です。

みなさまのご参加をお待ちしております！

2017年7月から8月の旭山野鳥情報

2017年7月に観察された鳥たちの特徴的な行動を紹介します。

★ホオジロ：8月4日に巣立ち幼鳥2羽とその両親を見ました。幼鳥はまだ尾羽もまともに生えていない状態ですが、6月に一度巣立ち幼鳥を見たので、今回のは2回目かもしれません。

★オオルリ：7月18日に「風の丘」近くで雄が囁りをしているところで、ヤブサメが笹藪から逃げた後に雌のオオルリが飛んで来て枝で囁りをするという行動が見られました。巣立ち幼鳥がいたところにヤブサメが近寄って雌に追い払われたと考えられます。

しかしその後その辺りでオオルリは見られていません。幼鳥がそろそろ出てくる頃です。

★コサメビタキ：7月23日頃から親子3~4羽の群れが見られるようになりました。

例年「森の家」周辺でこの時期見られますが、今年は「遊具広場」でもよく見られます。

★キビタキ：7月27日からそれまで盛んだった囁りがあまり聞かれなくなりました。

★クロツグミ：6月下旬から「風の丘」近くや「森の家」周辺で朝と夕方に囁りが聞かれましたが、現在では落ち着きました。時々低い位置で姿が見られることがあります。

★ヤブサメ：7月下旬に囁りをやめましたが「キュキュ」という地鳴きはよく聞かれます。

★ウグイス：7月中はほとんど声を聞かなかつたですが8月に入り「噴水広場」下の斜面で囁りや地鳴きが時折聞かれるようになりました。

★センダイムシクイ：囁りがよく聞かれ姿も見られますが、8月下旬には南に渡ります。

★メジロ：夏鳥の中ではまだ囁りがよく聞かれる鳥です。

★アオバト：声が時折聞かれますがあまり低い位置には降りてきません。

★シマエナガ：現在は時々見られます。7月下旬はまだ幼鳥の顔に黒い帯がありました。

★クマゲラ：巣立ち幼鳥が時折「森の家」近くにやって来ます。

★アカゲラ★コゲラ★ゴジュウカラ★シジュウカラ★ハシブトガラ★ヤマガラ

★ヒガラ★カワラヒワ★オオジロ：見られる頻度が比較的高い鳥たちです。

ホオジロ幼鳥



オオルリ雄



コサメビタキ



夏の花三題 ハンゴンソウ、オトギリソウ、ネジバナ

【こわ~い話 その1】ハンゴンソウ

お盆の頃に黄色い花を咲かせるキク科の草本。漢字では「反魂草」と書きますが、その葉っぱが人間の手のひらを返したような形をしていて、お盆にはその葉が靈を呼び寄せる、という言い伝えからつけられたと言われています。さらにこわい(？！)話で、このハンゴンソウ、旭山では「栗の木デッキ」の横に数株あるだけ。ぜひその黄色い花を観察してみてください。

【こわ~い話 その2】オトギリソウ

こちらも8月の黄色い花、漢字で「弟切草」、この草を原料にした薬の秘密を漏らした弟を兄が切り殺したという平安時代の伝説からきていて、葉に黒い斑点が散らばっているのはその際に吹き飛んだ血の跡だというお話。オトギリソウは「森の家」から「風の丘」の間の道沿いに点在しており、見つけたら葉の黒い斑点をルーペなどで観察してみてください。

ハンゴンソウ



オトギリソウ



ネジバナを探そう！

ラン科の草本、高さ30cmほど。その名の通り花がねじれたように咲くのが特徴ですが、旭山では毎年いろいろな場所に咲きます。ぜひ探してみてください！

ネジバナ



編集後記

毎年お盆のお楽しみといえば「ペルセウス座流星群」。※写真は星とは無関係シマヘビ
札幌でも1時間に10から30の流れ星を見る事ができるそうです。
今年は13日午前4時が極大(流れ星がいちばん多く出る時間)、
12日土曜日の夜は少し夜更かしして星空観察はいかがですか？



公式サイト

「アカゲラ通信」 第45号 2017(平成29)年8月5日発行

発行：(公財) 札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所

住所：〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

連絡先：電話011-200-0311(土・日・祝日10時~16時) FAX011-200-0351

<http://www.sapporo-park.or.jp/asahiyama/>